



# 学校だより

令和4年8月29日  
横浜市立豊田小学校  
8・9月号

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

## 「キラッ☆とかがやく豊田っ子とともに」

副校長

38日間の夏休みが終わり、学校に元気な豊田っ子の声が戻ってきました。子どもたちと夏休みを振り返り、自身の成長を確認し、認め、ほめるとともに、次のステップへのめあて・目標をていねいに引き出していきたいと思います。

今年度、4月より副校長として着任いたしました生田豪と申します。多くの方は、副校長はどのような仕事をしているのか、ご存じないと思います。私も、よくわからないままこの職につき、日々とまどいながらも、新しい仕事との出会いを楽しむように心がけているところです。そんなある日、1年生からインタビューを受けました。「ふくこうちょうせんせいは、どんなしごとをしていますか？」との問いに、しばらく悩んだ末、絞り出した答えは、「先生たちが働きやすくなるためのお手伝いをしています。」でした。今、学校には、持続可能な学校経営やそのための働き方改革が求められています。1年生へ返答したような仕事は、まだ十分にはできていません。ただ、それを約束として、目標として、取り組んでいきます。それがきっと、子どもたちと直接関わる教職員を通して、「キラッ☆とかがやく豊田っ子」につながっていくのだと思います。

そんな私が、いつも必ず子どもたちと関われる、唯一の場所が、門です。朝、開門し、しばらく登校の様子を見守っていると、たくさんの「キラッ☆とかがやく豊田っ子」に出会えます。4月当初の第一印象として感じたのは、すすんであいさつができる子が多い、ということでした。あいさつのしかたにはそれぞれの個性が表れます。大きな声の「おはようございます。」、笑顔いっぱい「おはようございます。」、カーブを曲がり門が見えたばかりのまだ遠いところから「おはようございます。」、声の代わりに会釈…。そんなあいさつ運動を推進する高学年児童は、時間ぎりぎりまで活動すると、私に「先に戻るので、あとはよろしくお願いします。」と告げてから教室へ向かいます。あいさつから続く会話も楽しいものです。「今何時ですか。」といった質問、「今日は〇〇（キャラクター名）のハンカチだよ。」「バッタつかまえたよ。」といった報告等をきっかけに会話が弾みます。また、門には様々な物が届きます。抱えきれないほどのペットボトルを必死に運んでいる子がいたので聞いてみると、「自動販売機の横にあふれていたのを拾ってきました。学校のリサイクルステーションに捨てにいけます。」とのことでした。私が保護者から連絡帳を受け取る場面を見ていた子は、「同じクラスなので届けます。」と、すすんで申し出てくれました。

7月、4年生上郷宿泊体験学習の引率をする機会がありました。どの場面でもスローガンにある「みんなで仲良く協力」が達成できていましたが、秀逸だったのが資源循環局の見学です。担当職員の説明や問いかけに対する子どもたちの姿に、「あんなに反応がいい子たちは初めて。説明する職員もやりやすいです。」と大変なお褒めの言葉をいただきました。そんな4年生の姿から、他の学年のよい姿も想像することができます。

このような素敵な豊田っ子たちを、毎朝元気に送り出している保護者・地域の皆様に、あらためて感謝申し上げます。これからも、「豊かにかかわり じっくり考えるキラッ☆とかがやく豊田っ子」を育てていくために、本校教育活動へのご理解・ご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。